

エコアクション21 環境活動レポート



2017年度版
(2017年4月～2018年3月)



2018年10月 1日



人と社会と地球のために
西部建設株式会社
三菱マテリアルグループ

福岡市中央区地行1丁目15番29号

目 次

1. はじめに	P. 1
2. 環境経営	P. 1
3. エコアクション21の位置付け	P. 2
4. 沿革	P. 2
5. 会社概要	P. 3
6. 主な資格取得者	P. 3
7. 会社組織図	P. 4
8. 認証・登録の対象組織・活動	P. 4
9. 2017年度環境目標・実績・評価	P. 5
10. 2015年度～2017年度実績値の動向	P. 6
11. 2018年度環境目標	P. 8
12. 環境関連法規の遵守状況	P.10
13. 高島出張所(一般廃棄物及び産業廃棄物収集運搬業)の実績	P.11
14. 佐賀工場(製造業)の実績	P.13
15. その他の環境活動	P.14
16. 代表者による全体評価と見直しの結果	P.15

1. はじめに

「未来を見つめ 人と自然にやさしい環境づくりをめざしています」

弊社は、1953年(昭和28年)、三菱鉱業(株)(現三菱マテリアル(株))の炭鉱の子会社として設立されました。エネルギー革命により、炭鉱部門の縮小、閉山の中、一般の土木、建築部門に操業の柱を移行、強化する一方で、逐次①ゴルフ場散水設備②畑地灌漑散水設備の設計・施工③配電盤の製作・製缶④棒鋼・線材の溶接加工⑤地下貯水工事⑥下水道管の管更生工事⑦セメント工場の設備据付、メンテナンス工事への事業の拡大伸長を図り、地域社会に根ざした総合建設業としての基盤を固めております。

価値観が多様化する今日、建設業においても例外ではなく、自然環境への的確な対応に加え、ニーズの多様化と之に呼応する技術の高度化が要求される時代と認識しております。

この現状を踏まえ、弊社は「お客様にご満足いただくこと」をモットーとして、常に新しい視点にたった技術の研鑽とノウハウの蓄積に努め、お客様のご要望にしなやか且迅速に対応して参りたいと考えております。

2018年10月

西部建設株式会社 代表取締役 山本寿丸

2. 環境経営

環境経営

ミッション(使命)

人々の生活や事業を支える「ものづくり」や「サービス」で、地域や社会の発展に貢献する

経営方針

質の高い製品・サービスと安全・安心を提供し、お客様をはじめとする方々から「信頼・選択される会社」になる

三菱マテリアル株式会社 行動規範 5章

第1章 人権尊重

私たちは、すべての人々の人権を尊重します

第2章 安全優先

私たちは、安全と健康をすべてに優先します

第3章 法令遵守

私たちは、法令を遵守し、社会的良識に従って、公正で誠実な企業活動を行います

第4章 共存共栄

私たちは、国際社会の一員として、それぞれの地域に貢献し、社会との共存共栄を図ります

第5章 環境保全

私たちは、環境保全に努め、資源の有効活用とその再資源化に取り組めます

環境経営方針

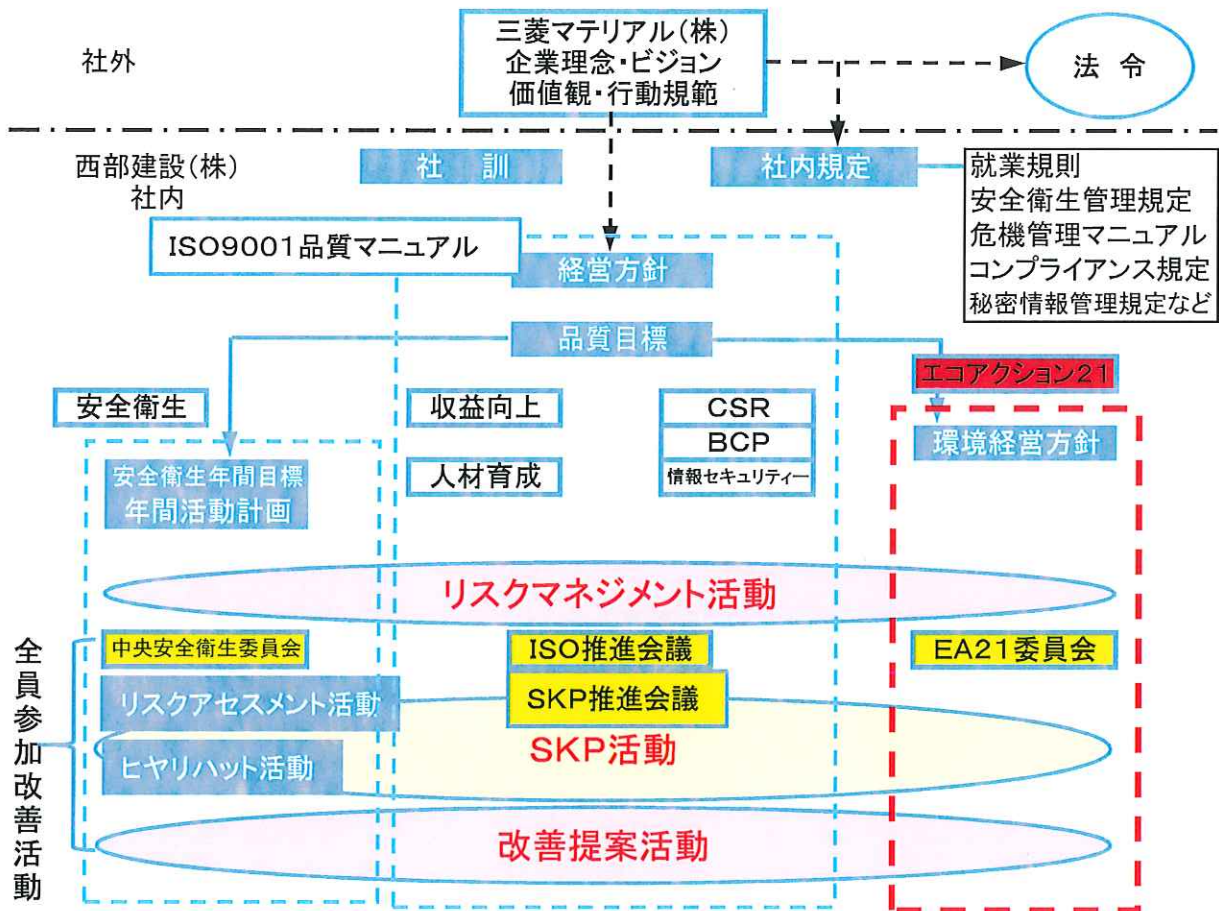
【基本理念】

- ・経営の中に環境への取組を位置付け、経営における課題とチャンスをつまえた環境経営を行う
- ・環境経営を通して実効ある活動を行い、継続的に進化、成長する組織を目指す

【基本方針】

1. 環境データの提供・活用
 - ・当社環境データの国内位置付けを把握し、パリ協定批准目標達成に繋がる取組を推進するため、当局との環境データ相互提供と活用を行う
2. 低炭素社会への貢献
 - ・低炭素社会の実現に向け、節電、エコドライブ、エコカーの活用による省エネ・省資源化を推進し、事業活動に伴う温室効果ガス排出の抑制に努める
3. 循環型社会への貢献
 - ・廃棄物排出量の削減及び再資源化、環境に配慮した商品の購入の推進等に取り組み、循環型社会の形成に貢献する
4. 社会との協調
 - ・環境活動レポート等を積極的に公開し、ステークホルダー連携・協調により社会とのコミュニケーションを図る
5. 環境関連法規の教育と管理の推進
 - ・順法性体制と不正のおこらない仕組みづくりを推進する
 - ・エコアクション21新ガイドラインの展開のための教育を行う
 - ・環境関連情報の共有化を図り、全社一体となった環境マネジメントシステムの品質向上に努める

3. エコアクション21の位置付け



4. 沿革

1953年 8月	三菱鉱業株式会社(現 三菱マテリアル株式会社)の子会社として会社創立
1953年 8月	多久出張所開設(現 佐賀支店)
1953年12月	崎戸出張所開設
1956年 8月	高島出張所開設
1956年10月	佐賀崎出張所開設(現 長崎支店)
1964年 3月	福岡出張所開設(現 建設本部)
1965年 7月	佐賀県多久市に金網工場新設(現 佐賀工場) 亀甲金網、コンクリート二次製品製造販売
1971年12月	資本金1,200万円に増資
1974年10月	畑地灌漑施設工事開始
1978年 3月	三菱マテリアル株式会社 九州工場内に北九州事業所開設
1995年 4月	SKP(西部建設パワーアップ)運動スタート
1998年 4月	物流施設事業部新設(2012年8月 北九州事業所に統合)
1999年12月	ISO9001(品質)認証取得(現 2015年版ISO9001)(本社、建設本部)
2004年 4月	日本SPR工法協会加入、下水道更生工事に進出
2005年10月	地下貯水工法研究会加入
2005年 9月	本社移転、建設本部と統合
2011年 5月	エコアクション21認証取得(本社、建設本部、佐賀工場)
2012年 1月	特定建設業 しゅんせつ工事業 許可を取り消す
2012年 6月	機械器具設置工事業 特定建設業の許可を受ける(北九州事業所)
2014年 7月	子育て応援宣言登録(福岡県)
2017年 3月	特定建設業 解体工事業 許可を受ける
2018年 3月	一般建設業 消防施設工事業 許可を受ける

5. 会社概要

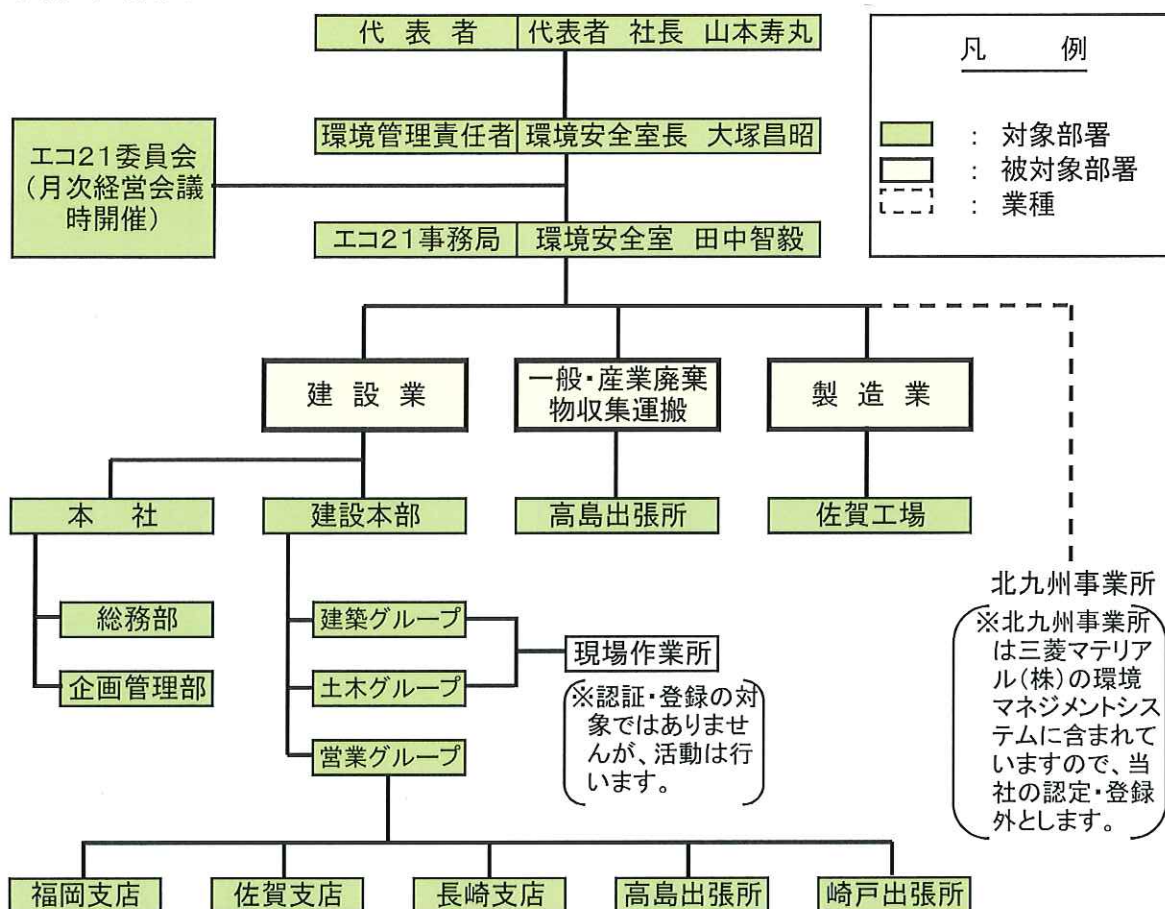
■会社名	西部建設株式会社					
■代表者名	代表取締役 山本 寿丸（平成27年 4月 1日就任）					
■資本金	2億5,000万円					
■所在地	本社	福岡県福岡市中央区地行1丁目15番29号				
	建設本部	福岡県福岡市中央区地行1丁目15番29号				
	・福岡支店	福岡県福岡市中央区地行1丁目15番29号				
	・佐賀支店	佐賀県多久市北多久町大字小侍688番地8				
	・長崎支店	長崎県長崎市小曾根町1番16号				
・高島出張所	長崎県長崎市高島町2706番地					
・崎戸出張所	長崎県西海市崎戸町蛸浦郷1224					
佐賀工場	佐賀県多久市東多久町大字別府3245-7					
北九州事業所	福岡県京都郡苅田町松原町12番地 三菱マテリアル株式会社 九州工場内					
■環境管理責任者氏名	責任者	環境安全室長 大塚 昌昭				
■担当者連絡先	エコアクション21事務局	田中 智毅				
		【TEL】092-771-1766 【FAX】092-771-6069 【Eメール】tanakata@mmc.co.jp 【ホームページ】http://seibuken.co.jp				
■主な取得業許可	国土交通大臣許可(特一28)第578号	土木工事業	建築工事業			
	(特一28)第578号	とび・土工・コンクリート工事業	舗装工事業			
	(般一28)第578号	電気工事業	管工事業			
	(般一29)第578号	消防施設工事業				
	一級建築士事務所	福岡県知事登録 第1-11203号				
	測量業	登録 第(13)-1323号				
	宅地建物取引業	福岡県知事(8)第10130号				
	特例浄化槽工事業	福岡県(62)第01~120号				
	みなし登録電気工事業	福岡県 第23008号				
	産業廃棄物収集運搬業	長崎市 07903114662号				
一般廃棄物収集運搬業	長崎市指令 廃対 第12号 許可番号418号					
■事業の規模		単位	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
	経審総売上高	百万円	6,153	6,844	7,461	6,581
	従業員	人	133	132	126	121
	事業年度	4月～翌年3月				

6. 主な資格取得者

資格名	取得者数
1級土木施工管理士	20
2級土木施工管理士	3
1級建築施工管理士	14
2級建築施工管理士	5
1級建設機械施工管理技士	1
1級造園施工管理技士	1
2級造園施工管理技士	1
1級管工事施工管理技士	1
2級管工事施工管理技士	8
1級建築士	3
2級建築士	5

資格名	取得者数
2級電気工事施工管理技士	1
第一種電気工事士	4
電気工事士	1
機械器具設置業監理技術者(実務経験)	3
測量士及び測量士補	6
測量士補	7
推進工事技士	5
浄化槽管理士及び浄化槽設備士	3
登録解体工事講習	3
消防設備士(甲種)	4
1級、2級建設業経理士	11

7. 会社組織図



8. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名	西部建設株式会社				従業員数	
対象組織	本社	総務部 企画管理部 環境安全室		建設業	48	
	建設本部	福岡支店 佐賀支店 長崎支店 崎戸出張所				
	高島出張所	一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業			7	
	佐賀工場	製造業			18	
対象活動	建設本部	土木工事業、建築工事業、とび・土工・コンクリート工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業、機械器具設置工事業、解体工事業、電気工事業、管工事業、測量業、消防施設工事、測量業、1級建築士事務所、宅地建物取引業				
	高島出張所	一般廃棄物及び産業廃棄物収集運搬業(長崎市委託業務)				
	佐賀工場	土木・建築用金網の製作、コンクリート二次製品用金網の製作、畑地灌漑用及びゴルフ場散水用配電盤の製作・メンテナンス、セメント用移動式タンクの設置・撤去・メンテナンス				
対象除外場所	北九州事業所	北九州事業所は、三菱マテリアル株式会社の環境マネジメントシステムに含まれておりますが、当社の認定・登録外と致します。			46	
従業員の構成	建設本部	高島出張所	佐賀工場	対象場所計	北九州事業所	全従業員数
	48	7	18	73	46	119

従業員数は、2018年8月末時点

以上から、当社では、全組織、全活動を対象とします。

9. 2017年度環境目標・実績・評価

(継続的改善への取組み)

環境負荷低減活動を一步一步積み上げてきていますが、全社員に「当たり前前を当たり前と捉えず常に改善を図る」という意識が浸透していません。次年度から、取組の意識をより高くし、継続される活動と致します。

目的	環境目標項目	単位	2017年度				
			目標※1	実績	目標評価※2	主な取組み内容	取組みの評価
1 低炭素社会への貢献	二酸化炭素排出量	t-CO ₂	286,772 以下	256,183	◎		○
	購入電力CO ₂ 排出係数※3		0.374kg-CO ₂ ・kWh				
	電力使用量	kWh	279,288 以下	202,417	◎	<ul style="list-style-type: none"> 不要時のスイッチOFFを徹底する エアコンフィルターの清掃(2回/年) エコ家電品の購入(低消費電力タイプ購入) 室温によるエアコン適正温度の設定 パソコン・コピー機エコモードの設定 	○
	ガソリン使用量	L	47,556 以下	48,071	△	<ul style="list-style-type: none"> エコ運転の励行(急発進・急加速をしない) 高速道路運転時、時速100km/h 公共交通機関を利用した移動(JR/バス/地下鉄) 社有車の低燃費車、ハイブリッド車への転換 	○
	軽油使用量	L	24,259 以下	20,178	◎	<ul style="list-style-type: none"> エコ運転の励行(急発進・急加速をしない) 高速道路運転時、時速100km/h 公共交通機関を利用した移動(JR/バス/地下鉄) 社有車の低燃費車、ハイブリッド車への転換 	○
	灯油使用量	L	3,204 以下	4,340	×	<ul style="list-style-type: none"> 石油ストーブ使用時、室内温度の管理 石油ストーブの傍を離れる時は切る 	○
	プロパンガス使用量	kg	87 以下	42	◎	<ul style="list-style-type: none"> 冬季の洗い物は低水温で使用する 	○
	水道使用量	m ³	1,715 以下	610	◎	<ul style="list-style-type: none"> 手洗い場等への注意喚起シールの貼付 毎月の使用量の確認、漏水等のチェック 蛇口の半開使用と閉め忘れのチェック 洗い物はまとめて行う 	○
太陽光発電パネルの点検(1回/月)佐賀工場	%	100	100	○	<ul style="list-style-type: none"> パネルの損傷、汚れの点検 設備廻りの除草 夏場のパネル冷却のための散水 太陽光パネル発電の維持 	○	
2 循環型社会への貢献	事業系一般廃棄物(燃えるごみ)排出量	kg	1,028 以下	937	○	<ul style="list-style-type: none"> 資源ごみの回収の推進(古紙・缶・PB等) 使い捨て容器等の使用削減 両面コピー、ペーパーレス化等で紙使用量の削減 ミスプリントの削減(PC設定、原稿、部数の確認) 	○
	ペットボトルキャップの回収量	kg	31.25 以上	28.78	△	<ul style="list-style-type: none"> ペットボトルキャップの回収活動 	○
	産業廃棄物排出量	t	3,507 以下	3,567	△	<ul style="list-style-type: none"> 現場以外での現場資材の加工の推進 搬入材料の梱包材の業者持ち帰りの推進 	○
	産業廃棄物最終処分排出量	t	604 以下	268	◎	<ul style="list-style-type: none"> 混合廃棄物の削減 分別ボックス設置による再資源化の推進 再資源化処分場への委託の推進 	○

※1 目標は、2016年度実績値以下

※2 記号	◎	○	△	×
達成率	110%以上	100%以上~110%未満	80%以上~100%未満	80%未満

※3 2008年度九州電力(株)実排出係数を使用

目的	環境目標項目	単位	2017年度				
			目標※1	実績	目標評価※2	主な取組み内容	取組みの評価
循環型社会への貢献	環境に配慮した商品の購入の推進	円	797476以上	605,135	×	・購入金額集計	○
	収集運搬許可証(許可期間の確認)高島出張所	%	100	100	○	・許可証写しの掲示 ・年度初めの許可証の確認 ・長崎市委託業務の継続的な契約の維持	○
	収集運搬許可証(許可の更新)高島出張所	%	100	100	○	・許可期間内での更新 ・長崎市委託業務の継続的な契約の維持	○
	収集運搬車両の点検高島出張所	%	100	100	○	・月次の車両点検 ・車検 ・長崎市委託業務の継続的な契約の維持	○
	本業で提案する製品・サービスにおける環境配慮の提案	%	100	100	○	・低騒音・低振動建設機械の使用の提案 ・排出ガス対策型建設機械の使用の提案 ・防音シートの使用の提案	○
自然への貢献社会	現場で使用する化学物質の把握	%	80	100	◎	・化学物質の把握 ・SDSの発行依頼とSDSの保管 ・SDSの内容の確認	○

※1 目標は、2016年度実績値以下

※2 記号	◎	○	△	×
達成率	110%以上	100%以上~110%未満	80%以上~100%未満	80%未満

10. 2015年度～2017年度実績値の動向

二酸化炭素排出量(単位:CO2-kg)



電力使用量(単位:kWh)



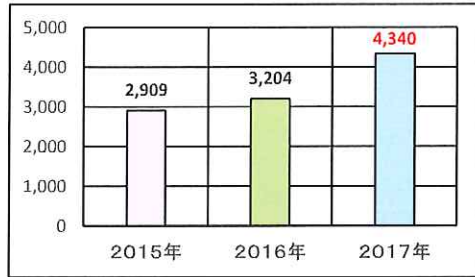
ガソリン使用量(単位:L)



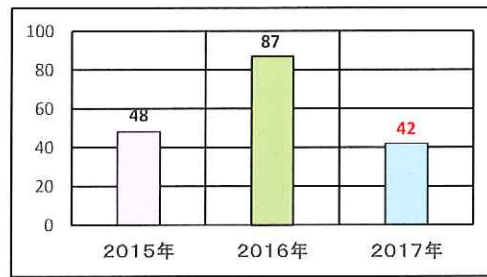
軽油使用量(単位:L)



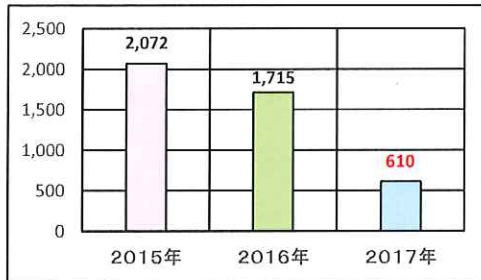
灯油使用量(単位:L)



プロパンガス使用量(単位:kg)



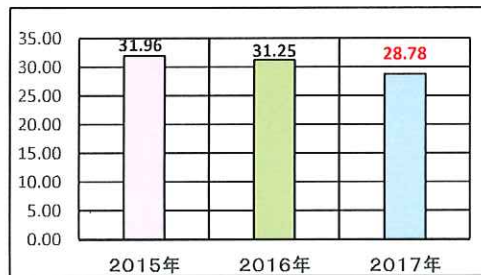
水道使用量(単位:m³)



事業系一般廃棄物(燃えるごみ)排出量(単位:m³)



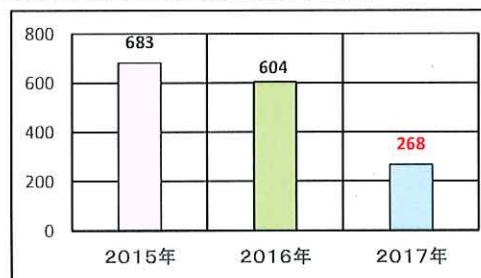
ペットボトルキャップの回収量(単位:kg)



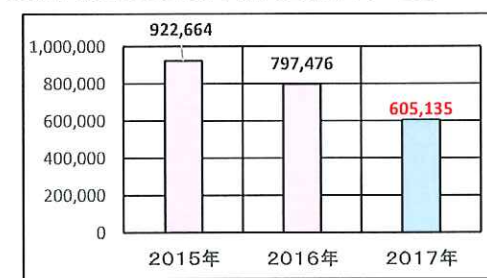
産業廃棄物排出量(単位:t)



産業廃棄物最終処分排出量(単位:t)



環境に配慮した商品の購入金額(単位:円)



11. 2018年度環境目標

(継続的改善への取組み)

2018年度の目標は、削減活動項目については、2017年度の実績値以下とし、増加活動項目については2017年度の実績値以上とします。2018年度も自主的な活動を行い、現行水準の維持と向上を図ります。

目的	環境目標項目	単位	2018年度	
			目標	主な活動計画
1 低炭素社会への貢献	二酸化炭素排出量	t-CO ₂	256,186 以下	(購入電力CO ₂ 係数※3:0.374kg-CO ₂ /kWh)
	電力消費量	kWh	202,417 以下	<ul style="list-style-type: none"> 不要時のスイッチOFFを徹底する エアコンフィルターの清掃(2回/年) エアコン及び室外機の簡易定期点検(4回/年) エコ家電品の購入(低消費電力タイプ) 室温でのエアコン設定温度の調整(夏季、冬季) パソコン・コピー機エコモードの設定
	ガソリン使用量	L	48,071 以下	<ul style="list-style-type: none"> エコ運転の励行(ふんわり発進等) 社有車の燃費管理(運行表燃費管理) 公共交通機関の利用(JR、地下鉄、バス) 社有車の低燃費車、ハイブリッド車への転換
	軽油使用量	L	20,178 以下	<ul style="list-style-type: none"> エコ運転の励行(ふんわり発進等) 社有車の燃費管理(運行表燃費管理) 公共交通機関の利用(JR、地下鉄、バス) 社有車の低燃費車、ハイブリッド車への転換
	灯油使用量	L	4,340 以下	<ul style="list-style-type: none"> エコ運転の励行(フォークリフト等) 石油ストーブ使用時、室内温度の管理 石油ストーブの傍を離れる時は切る
	プロパンガス使用量	kg	42,108 以下	<ul style="list-style-type: none"> 冬季の洗い物は低水温で使用する
	水道使用量	m ³	610 以下	<ul style="list-style-type: none"> 手洗い場等への注意喚起シールの貼付 毎月使用量の確認、漏水等のチェック 蛇口の半開使用と閉め忘れのチェック 洗い物はまとめて行う
	太陽光発電パネルの点検(1回/月)佐賀工場	%	100 維持	<ul style="list-style-type: none"> パネルの損傷、汚れの点検 設備廻りの除草 夏場のパネル冷却のための散水 太陽光パネル発電の維持
2 循環型社会への貢献	事業系一般廃棄物(燃えるごみ)排出量	kg	937 以下	<ul style="list-style-type: none"> 両面コピー、ペーパーレス等で紙使用量の削減 ミスプリントの削減(PC設定、原稿、部数の確認) 使い捨て容器等の使用の削減 裏紙・封筒等の再使用の促進
	ペットボトルキャップの回収量	kg	28.78	<ul style="list-style-type: none"> ペットボトルキャップの回収活動 資源ごみとして再資源化
	産業廃棄物排出量	t	3,567	<ul style="list-style-type: none"> 現場以外での現場資材の加工の推進 搬入材料の梱包材の業者持ち帰りの推進
	産業廃棄物最終処分排出量	t	268	<ul style="list-style-type: none"> 混合廃棄物の削減 分別ボックスの設置での再資源化の推進 再資源化処分場への処分委託
	環境に配慮した商品の購入の推進	円	613,505	<ul style="list-style-type: none"> 購入金額のカウント

目的	環境目標項目	単位	2018年度	
			目標	主な活動計画
2 循環型 社会へ の 貢献	長崎市委託業務の 継続的な契約の維持			
	収集運搬 許可証(許可 期間の確認) 高島出張所	%	100	<ul style="list-style-type: none"> 許可証の写しの掲示 年度初めでの許可証の確認
	収集運搬 許可証 (許可の更新) 高島出張所	%	100	<ul style="list-style-type: none"> 許可期間内での更新
	収集運搬車両 の点検 高島出張所	%	100	<ul style="list-style-type: none"> 月次点検の励行 車検の実施
3 自然 共存 社会 への 貢献	環境に配慮した 資材、機械の使用	%	100	<ul style="list-style-type: none"> 低騒音型及び低振動型建設機械の使用 排出ガス対策型機械の使用 防音シートの使用
	使用する化学 物質のSDS の受領と保管	%	100	<ul style="list-style-type: none"> 化学物質の把握 SDSの発行依頼とSDSの保管 SDSの内容の確認と取扱関係者への伝達
4 環境 管理 の 推 進	環境経営方針、 目標計画周知 のための教育 環境安全室			<ul style="list-style-type: none"> 年度初めに各対象場所での説明会実施
	新ガイドライン (2017年版)の 周知のための教育 環境安全室			<ul style="list-style-type: none"> 新ガイドライン(2017年版)教育のための資料作成 資料を使って各対象場所での説明会の実施
	実施体制役割 分担見直し 環境安全室			<ul style="list-style-type: none"> 各対象場所で見直しの実施 実施体制図、役割分担表、作成と掲示
	環境関連法規 取纏表の改訂			<ul style="list-style-type: none"> 我が社が組織としてコンプライアンス上遵法するたるために 必要な法規を簡潔に整理する
	環境関連法規 の遵法の確認			<ul style="list-style-type: none"> 改訂した取纏表を各対象場所に配付して遵法の確認を 行う
	エコ21掲示スペース 及び掲示物の充実			<ul style="list-style-type: none"> エコ21掲示スペースの確保 エコ21関連活動掲示物の掲示とその確認

12. 環境関連法規の遵守状況

- ・当社の事業活動において法的義務を受ける主な環境関連法規は次の通りです。
- ・2017年10月に、環境関連法規等の遵守状況の確認結果より、違反はありませんでした。また、関係機関からの違反の指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間はありませんでした。
- ・当社独自の環境法規チェックシート表は、2018年9月に改訂修正を行いました。9月に環境関連法令の遵守状況の確認を行います。

対象場所全事務所に共通するもの

- ・温対法(地球温暖化対策の推進に関する法律)
- ・クリーン購入法(国等による環境物品等の調達に関する法律)
- ・フロン排出抑制法(フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律)

高島出張所に該当するもの

- ・廃掃法/廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)

対象場所現場作業所、工場に共通するもの

- ・建設リサイクル法(建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律)
- ・廃掃法/廃棄物処理法(廃棄物処理及び清掃に関する法律)
- ・振動規制法
- ・騒音規制法
- ・大気汚染防止法
- ・土壌汚染対策法

佐賀工場に該当するもの

- ・工場立地法

13. 高島出張所(一般廃棄物及び産業廃棄物収集運搬業)の実績

・当社の高島出張所の2017年度取組の概要は、以下の通りです。

■業務活動場所	高島出張所		
■所在地住所	長崎県長崎市高島町2706番地		
■許可証 (高島出張所)	一般廃棄物	許可番号	長崎市指令 廃対 第1号 長崎市 第418号
	収集運搬業	許可期間	平成30年 4月 1日～平成32年 3月31日
	産業廃棄物	許可番号	07903114662号
	収集運搬業	許可期間	平成26年 9月10日～平成31年 9月 9日
■取り扱う廃棄物の種類	一般廃棄物収集運搬業	一般廃棄物(し尿、浄化槽汚泥を含む)	
	産業廃棄物収集運搬業	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶器くず、汚泥、木くず、がれき類	
■委託業務内容 (長崎市からの委託業務)	<ul style="list-style-type: none"> ・高島浄化センターの汚泥を高島クリーンセンターに運搬 ・高島町内のし尿の収集運搬 ・高島町内の一般廃棄物の収集運搬 		
■委託業務となった推移	<p>長崎市高島町は、長崎市の沖合にある離島(高島)です。旧三菱鉱業(株)(現三菱マテリアル(株))の高島炭鉱があった島で、弊社は、子会社として設立されました。高島出張所は、1956年に開設され、現在に至っています。炭鉱の閉山に伴い、島民の流出、島内企業の撤退という中で、現在も島内に出張所を構える弊社が、インフラとライフラインの整備、維持を長崎市より、委託されることとなり、一般廃棄物及び産業廃棄物の収集運搬を行っております。</p>		
■収集・運搬業務フロー図 (長崎市との委託契約書に準じて実施)			
■収集・運搬車両	一般廃棄物 収集運搬車両	塵芥車	:長崎 800 さ 7791
		塵芥車	:長崎 800 さ 5615
		2tダンプトラック	:長崎 400 す 1138
		軽トラック	:長崎 480 け 9020
	汚泥収集運搬車両	バキューム車	:長崎 800 さ 9088
■法人設立年月日	昭和 28 年 8 月 10 日		
■資本金	2億5,000万円		

■収集・運搬車両
写真



塵芥車:長崎800さ7791



塵芥車:長崎800さ5615



2tダンプトラック:長崎400す1138

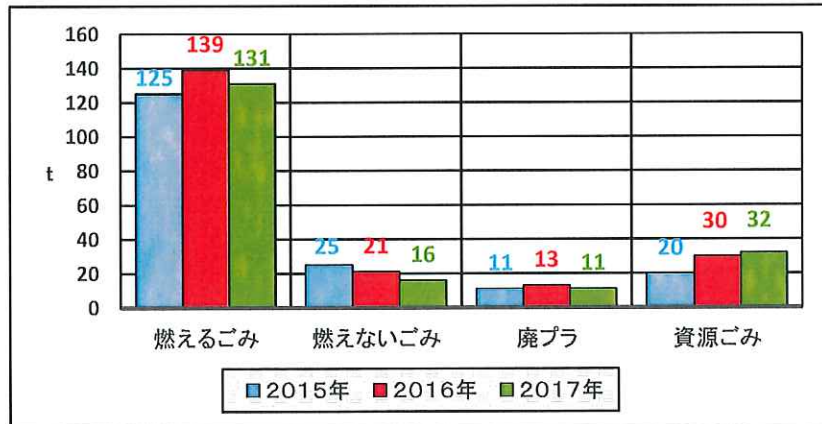


軽トラック:長崎480け9020

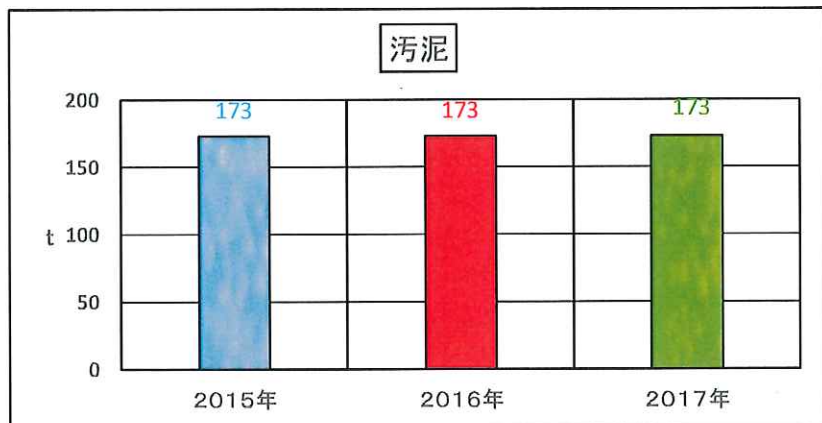


バキューム車:長崎800さ9088

■一般廃棄物
収集運搬実績



■産業廃棄物
収集運搬実績



※運搬台数は、1週間に2台(3.6m³)と高島浄化センターで決められています

14. 佐賀工場(製造業)の実績

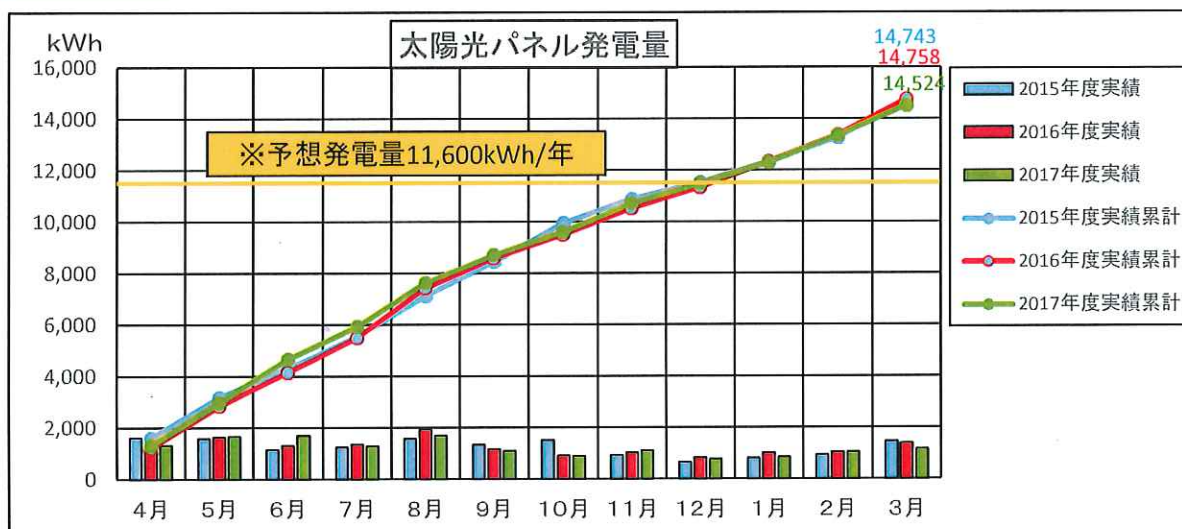
・当社の佐賀工場の2017年度取組の概要は、下記の通りです。

■総製品生産量または総商品販売量

製品名	単位	2015年度	2016年度実績	2017年度実績
		2015年度	2016年度実績	2017年度実績
コンクリート二次製品金網等全製品	t	373	486	401
	千円	80,092	87,394	79,331
環境負荷低減に資する製品または商品	t	0	0	0
	千円	0	0	0

■太陽光パネル発電(売電)(単位:kWh)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2015年度実績	1,614	1,572	1,146	1,244	1,563	1,326	1,504	924	652	802	940	1,456
2016年度実績	1,217	1,630	1,305	1,355	1,929	1,154	916	1,021	811	1,000	1,029	1,391
2017年度実績	1,316	1,657	1,695	1,276	1,694	1,083	888	1,106	764	839	1,043	1,163
2015年度実績累計	1,614	3,186	4,332	5,576	7,139	8,465	9,969	10,893	11,545	12,347	13,287	14,743
2016年度実績累計	1,217	2,847	4,152	5,507	7,436	8,590	9,506	10,527	11,338	12,338	13,367	14,758
2017年度実績累計	1,316	2,973	4,668	5,944	7,638	8,721	9,609	10,715	11,479	12,318	13,361	14,524



■前年度実績発電量の比較とy総発電量との比較

	実績発電量	前年度との比較	予想発電量	予想発電量との比較	(単位:kWh)
2015年度	14,743	—	11,600	27.1%	増加
2016年度	14,758	0.1% 増加	11,600	27.2%	増加
2017年度	14,524	1.6% 減少	11,600	25.2%	増加

■備考

※予想発電量は、当該地域(佐賀県白石町)における気象データを使用し、JIS C8907の計算方法(パラメーター方式)を基にした総合出力電力量(kWh)です。

・太陽光パネルによる発電は売電をしています。佐賀工場の購入電力から売電電力を減じた数値を佐賀工場の使用電力としています。

■太陽光パネル発電設備



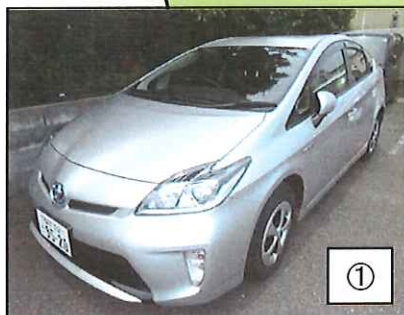
15. その他の環境活動

低炭素社会への貢献

① ハイブリッド車、低燃費車への転換

② ドライブレコーダーの設置

- ・効率的な安全運転・運行管理
- ・相乗効果(安全運転⇄エコドライブ)
- ・安全運転得点化、運転傾向の推移、危険運転



①

③ テレビ会議

- ・場所間の移動の削減

④ エコアクション21委員会

- ・社有車燃費管理及び環境負荷データ改善検討



②

循環型社会への貢献

① エコアプローチ((株)谷沢製作所)に参加

- ・使い古したヘルメットの再資源化活動
- ・使い古したヘルメットの発送連絡票と受取書での管理
- ・CO2ゼロ工場製ヘルメットの使用



①

② 植樹証明書(契約加入保険会社の活動)

③ 古紙等の資源化((株)松本光春商店)

- ・月に2回資源ごみ回収、証明書発行



③



②



①

社会との協調

① 事務所回り町内清掃活動(毎週末)

② 環境活動レポートの積極的な公開

③ 環境データの提供と活用

16. 代表者による全体評価と見直しの結果

NO.	全体評価と見直しの結果内容
1	月に一回開催しているエコアクション21委員会にて、環境安全室より環境負荷の動向、社有車燃費管理の結果、活動の情報発信・伝達が行われ、同委員会の位置付けが明確になってきました。エコアクション21委員会にて問題点とその是正・改善の検討が更に進むように、問題点の原因分析をお願いします。この活動は、従業員の活動であることを常に認識下さい。下さい。
2	環境負荷低減活動については、概ね目標を達成しており、取組は定着しつつあります。目標及び活動計画を踏まえた自主的な運用を念頭においた取組をお願いします。また、本来の活動の意義を見失うことがないように事業活動の変化を加味した実効ある目標設定をお願いします。
3	社内の環境を含む事故、災害についての対応(危機管理)は、地震版BCPなどで連絡網の整備と連絡訓練は実施出来ました。今後は、災害発生時に決められた対応、行動がとれるように訓練の実施が出来ればと思います。また、三菱マテリアルグループで危機管理システム導入が今年度予定されています。このシステムも環境に関連した事故、災害発生時に活用したいと考えております。
4	環境活動レポートは、我社のホームページに掲載致します。我社のホームページを閲覧された方々との外部コミュニケーションツール、営業ツールとして活用するため、我社のエコアクション活動の位置付け、会社の設立、事業活動、主な資格取得者なども掲載しております。
5	社有車にドライブレコーダーを取り付けて効率的な安全運転・運行管理を行っています。安全運転は、エコドライブと経費の節減に繋がります。ドライブレコーダーのデータは、パソコンに送られ、「安全運転得点化」、「運転傾向の推移」、「危険運転」などが評価され、ドライバーの安全運転状況が把握できます。今後は、これらのデータもエコドライブに活用したいと考えております。
6	環境関連法規の取り纏め表の改訂を行い、この取り纏め表を使って、環境関連法規の遵法の確認を実施しました。
7	前回審査において、2017年度版(新ガイドライン)の発行があると伺っておりました。今年の2月に開催されたガイドライン2017年度版への移行についての説明会に環境安全室が参加をして改訂の内容について報告を受けております。改訂に備え2018年度の環境経営方針の基本方針を改訂しております。
8	環境安全室は、今年度はじめに、各場所に出向いて、2017年度版(新ガイドライン)の説明と前回審査での指摘事項を踏まえた2018年度の活動計画の説明を行っています。従業員の教育が実施出来ました。
9	環境安全室は、新ガイドライン移行準備として今年度より環境データの月別使用量に加えて月別使用料金のデータを各場所から集計しています。

代表取締役社長 山本寿丸